

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
 医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。
 原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
 全数報告：第48週～49週(11/24～12/7) 定点報告：第45～49週(11/3～12/7)

全数報告疾患情報

医

市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第45週～第49週のグラフを別添しております

2類感染症	48～49週	累計（年）
結核	3	113
3類感染症	48～49週	累計（年）
腸管出血性大腸菌感染症	1	12
4類感染症	48～49週	累計（年）
レジオネラ症	1	4
E型肝炎	1	4

5類感染症	48～49週	累計（年）
百日咳	4	163
侵襲性肺炎球菌感染症	2	17
梅毒	2	29
後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む）	1	11
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9
播種性クリプトコックス症	2	3

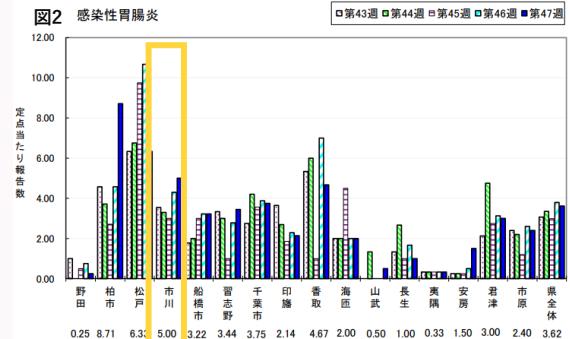
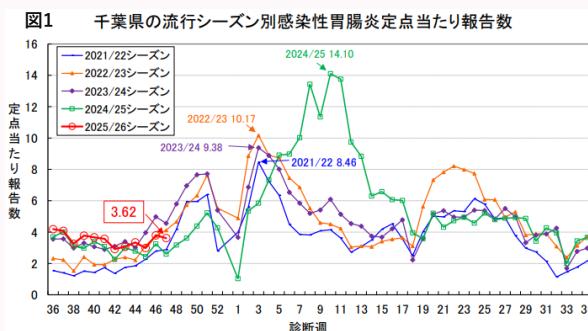
発生動向トピックス

TOPICS 1 ➤ 感染性胃腸炎に注意しましょう！

医 **全**

習志野市内の小学校で、アストロウイルスが原因とされる感染性胃腸炎の集団発生が確認されました。感染性胃腸炎は、多種多様な病原体によって引き起こされる嘔吐や下痢を主症状とする感染症です。起因病原体は、ウイルスが占める割合が特に多いことが特徴です。主にノロウイルスが多くみられる一方で、サポウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルス、アストロウイルスなど、他のウイルスも確認されます。

2025年第47週のデータによると、千葉県全体の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3.62(図1)、市川保健所管内では5.00と増加傾向にあります(図2)。



感染性胃腸炎は通年で発生する感染症ですが、特に冬から春先にかけて流行のピークを迎えます。このような状況を踏まえ、日頃から感染予防対策を徹底し、感染拡大を防ぐことが重要です。感染を広げないためにも、適切な知識を持ち、学校や家庭、職場での感染対策に努めましょう。

感染症解説

アストロウイルス

症状

潜伏期間：1日から4日
主症状：下痢、腹痛、嘔吐、発熱
→症状は軽く、多くが4日から5日以内に軽快

感染経路

- 主な感染経路はアストロウイルスが大量に含まれる患者のふん便や嘔吐物から人の手を介して感染する（糞口感染）
- ウイルスに汚染された水や食品を摂取することで感染する
- 貝類の生食あるいは十分に加熱しないで食べて感染する

感染対策

石鹼と流水による手洗いの徹底

感染性廃棄物の適切な取り扱い

環境消毒

健康観察の徹底

アストロウイルスはアルコール系消毒薬の効き目が低いため、次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒しましょう！

【参考】千葉県「【アストロウイルス】感染症予防のための情報提供について(令和7年11月22日)」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/astoro251122.html>

【参考】千葉県「2025/26シーズン 千葉県の感染性胃腸炎発生状況 2025年47週」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/astoro251122.html>

【参考】こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン（2023年5月一部改訂）」
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e4b817c9-5282-4ccc-b0d5-ce15d7b5018c/d557529d/20230401_policies_hoiku_15.pdf

TOPICS 2

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）診療の手引き 2025年版が公開されました

医 全

厚生労働省は、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）診療の手引き 2025年版」を改訂・公開しました。本改訂は、令和7年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業の一環として、新たな知見や情報を踏まえた更新となっています。

SFTSは、新しい感染症で、2011年に中国で初めて報告されました。この病気は「SFTSウイルス」によって引き起こされ、主にアジア地域（中国・韓国・日本）で発生しています。

患者の血液や体液に触れることで医療従事者が感染するリスクがあります。そのため、医療現場では適切な感染防止対策を行いながら、患者の治療やケアを行うことが重要です。SFTSは致死率が高く、感染拡大のリスクもあるため、正しい知識を持ち、予防策を徹底することが求められています。

重症熱性血小板減少症候群
SFTS : severe fever with thrombocytopenia syndrome

診療の手引き 2025年版

感染症解説

重症熱性血小板減少症候群

感染経路

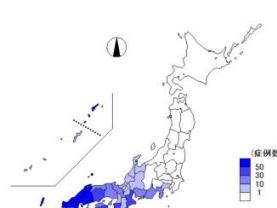
■マダニに刺されること

SFTSウイルスを保有するマダニに刺されることで感染する

■感染者・動物の血液や体液との接触

患者や感染した動物の血液や体液に触れることでも感染する可能性がある。
ネコやイヌからの感染事例の報告があり、特にネコからの報告が多い。

2025年8～10月には、北海道、茨城県、山梨県、栃木県を推定感染地とする患者が初めて報告された。



2019年 2025年



重症熱性血小板減少症候群

症状

■発熱 ■倦怠感 ■食欲不振 嘔吐や下痢などの消化器症状

■血小板や白血球の減少 ■重症例では出血症状(鼻血、皮下出血など)

→致死率が高く、特に高齢者や基礎疾患を持つ人が重症化しやすいです！

感染対策

■マダニに刺されないようにする

草むらや山などマダニが生息する場所では肌の露出を避け、長袖・長ズボンを着用する
虫よけスプレーを使用する

■感染者や動物の血液・体液に触れない

医療従事者は適切な防護具（手袋、マスク、ガウン等）を使用する
感染者や感染動物との接触時には手洗いや消毒を徹底する

【参考】厚労省「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000016952.html>

【参考】厚労省「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)診療の手引き 2025年版」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001598839.pdf>

TOPICS 3

海外旅行時は感染症に注意！

医 全

海外においては、国内では見られない感染症が流行していることがあります。海外滞在中に感染する可能性があります。年末年始に海外へ渡航する際には、事前に渡航先における感染症の流行状況、現地滞在中の注意点、海外渡航に際し推奨されている予防接種を御確認ください。

また、感染症には、潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中や帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は、医療機関に事前に電話連絡して海外渡航歴があることを伝えた上で受診し、**渡航先**、**滞在期間**、**現地での飲食状況**、**渡航先での活動内容**、**動物との接触の有無**、**ワクチン接種歴等**についてお伝えください。

計画前

- ✓ これまでに受けた予防接種歴を**母子手帳**で確認しましょう。
- ✓ 渡航先で推奨されている予防接種をまだ受けていない場合は早めに医師に相談して受けるようにしましょう。
- ✓ 渡航先の**感染症流行状況**を確認しましょう。

旅行中

- ✓ **生水・氷・カットフルーツ**を食べることは避けましょう。
- ✓ 食事は十分に火の入ったものを温かいうちに食べましょう。

海外渡航時に加熱が不十分な肉を喫食したことによる腸管出血性大腸菌感染症の発生が複数確認されています。一般に生肉の喫食は食中毒リスクがあるため旅行先で加熱不十分な肉の喫食はやめましょう。また、生の魚や野菜も微生物に汚染されている可能性があります。完全に火の通った食べ物を食べてください。

- ✓ 蚊やダニに刺されないように、**長袖・長ズボン**等服装に注意し、必要があれば**虫よけ剤**を使用しましょう。



海外でも生肉を食べることにより、重篤な食中毒（腸管出血性大腸菌O157等）になるリスクがあります！

旅先で加熱不十分な肉の喫食はやめましょう

【参考】厚労省「海外へ渡航される皆様へ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou_kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

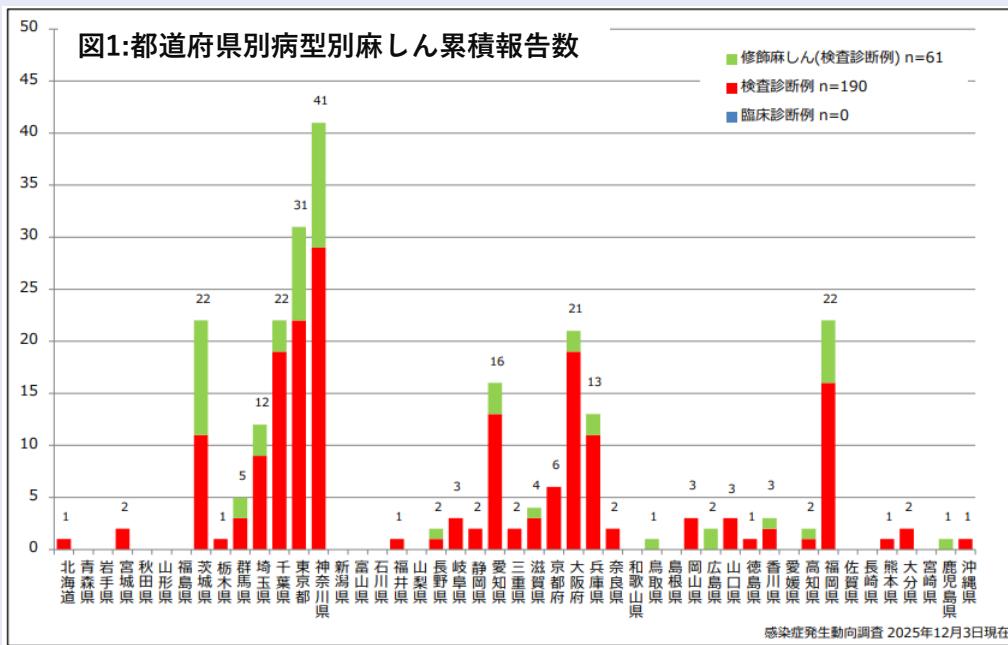
【参考】FORTH「海外へ渡航される皆さまへ！」

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

【参考】FORTH「海外での食べ物にご注意ください！」

https://www.forth.go.jp/news/20241101_00001.html

千葉県では、2025年第49週に届出はなく、2025年の累計は22例です。
全国では、2025年第48週に愛知県で3例、埼玉県、東京都、滋賀県、大阪府及び高知県で各1例の計8例の届出があり、2025年の累計は251例となりました。



【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の麻しん発生状況(2025年49週)」
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202549measles.pdf>

【参考】JIHS「麻疹発生動向調査 2025年第48週」
<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-48.pdf>

インフルエンザ感染症

⚠ インフルエンザ警報発令中 ⚠

—— 定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

報告数	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
838	838	6	0	0	41

(医療機関からの型報告なく不明な
105 例を除く)

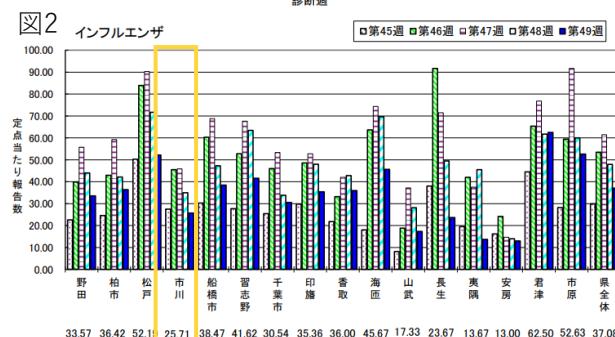
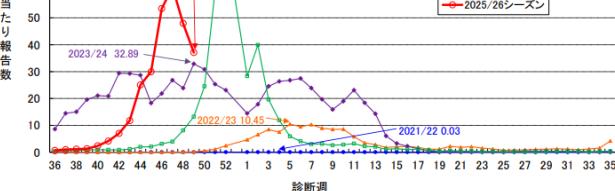
第49週の千葉県全体の定点当たり報告数は、
37.08(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、
25.71(人)でした(図2)。

第49週に千葉県内で報告のあった5,926例
のうち、A型5,811例(98.1%)、B型57例
(1.0%)であり、A型が多い状況です。

感染
対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

2025年第48週から第49週における定
点各医療機関からのインフルエンザ報告数
をまとめた表です



【参考】千葉県感染症情報センター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202549influenza.pdf>

【参考】厚生労働省「令和7年度急性呼吸器感染症(ARI)総合対策に関するQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kekakku-kansenshou/influenza/QA2025.html

—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第49週の千葉県全体の定点当たり報告数は、0.87(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、夷隅/市原(2.00)、長生(1.33)、野田(1.29)保健所管内でした。

市川保健所管内の報告数は、前週から減少し、0.53(人)となっています(図2)。

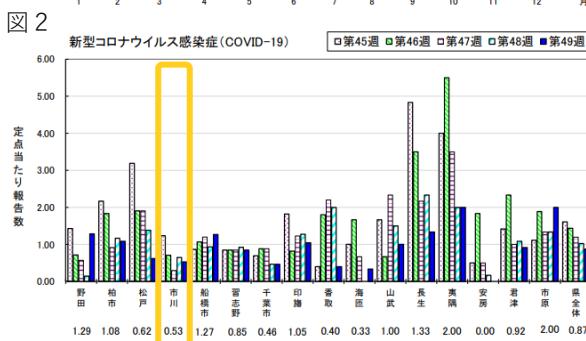
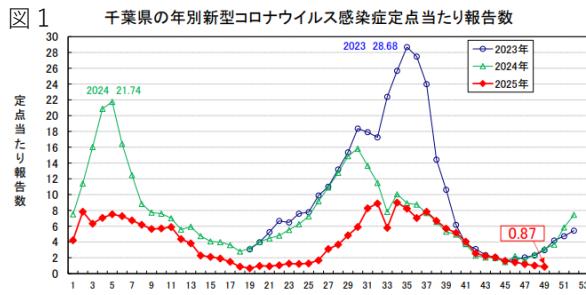
感染 対策 インフルエンザを予防する方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202549covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>



お知らせ

- 【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、発生届の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。
※閉院日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターに御連絡をお願いいたします。



◆◆感染症法に基づく 医師の届出ハンドブック

https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/pamphlet_A4.pdf

- 登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。
- いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。